

平成30年6月10日

各高等学校長 様

広島県弓道連盟
会長 宮脇 保博

平成30年度 広島県弓道国体選手最終選考会について（派遣依頼）

初夏の候、貴校におかれましてはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

県総体等の大会成績により、下記のとおり本年度の弓道国体候補選手が決定しました。つきましては、弓道国体候補選手から弓道国体選手を決定する最終選考会を下記要領で実施します。

該当の選手および顧問等の派遣につきまして御高配賜りますようお願い申し上げます。

記

- 1 期 日 平成30年7月1日（日） 9：30 ～
警報が発表された場合、別紙のとおり対応します。
- 2 場 所 呉市営弓道場遠的場・近的場 （当日は、最初は遠的場に集合）
呉市二河町1番8号
- 3 弓道国体候補選手
 - ① 別紙名簿の選手が、弓道国体候補選手となり選考対象者となります。
 - ② 別紙名簿の立順が最終予選会の立順となります。
各学校の該当番号のゼッケンを持参してください。
 - ③ 別紙名簿の的中数が、5次予選会までの32射の的中数となります。
- 4 別紙登録用紙にて、弓道連盟ID等をFAXまたはE-mailで連絡してください。
当日、広島県弓道連盟が顧問・コーチの昼食弁当を準備します。別紙での連絡締切は6月25日（月）とします。（この要項や登録用紙は高体連弓道専門部ホームページにも掲載します。）
連絡先 国体担当事務局 奥本康男 FAX 082-273-5299（自宅）
E-mail y-okumoto@hat.hi-ho.ne.jp

5 国体選手決定方法

- ① 最終予選会において、遠的四つ矢4立・近的四つ矢4立の計32射を実施する。
(詳細は、7日程を参照のこと)
- ② 5次予選会までの32射に、最終予選会の32射を加算し、総合計の中数の上位3名を広島県国体代表選手とする。
- ③ 同中の場合は、近的四つ矢1立の競射とする
- ④ ③において同中の場合は、近的の1本競射とする

6 申し合わせ事項

- ① 最終選考会の遠的競技は、色的での的中制とする。
- ② 近的では本座に椅子を設置しない。入場や進行の間合いは国体方式とし座射で行う。なお、遠的では本座の椅子は設置し、高体連の試合と同様の進行で実施する。
- ③ 立毎に射場の変更を行う。(第一射場と第二射場を交互に入れ替えます。)
- ④ 最終予選会に監督不在の場合は、高体連の規則に準じ失格とする。
- ⑤ 監督・コーチ(有無を含む)については、国体強化委員および国体選手所属校顧問の協議の上、決定する。なお、国体選手所属校以外の監督・コーチ要請については可能とする
- ⑥ 補欠選手起用や体調不良等における選手交代は、全てを監督に一任する。

7 日程

- 9:30～ 監督会議 遠的場にて実施 (9時開場)
(開会式は実施しません)
- 10:00～ 遠的1回戦 5分×4立=20分 男子 女子の順 ←平成30年度
遠的2回戦 5分×4立=20分
- 近的移動 移動終了後 10分休憩の後
- 11:10～ 近的1回戦 6分×4立=24分
近的2回戦 6分×4立=24分
- 遠的移動 移動終了後 50分休憩の後(昼食)
- 13:10～ 遠的3回戦 5分×4立=20分
遠的4回戦 5分×4立=20分 遠的 片付け
- 近的移動 移動終了後 10分休憩の後
- 14:20～ 近的3回戦 6分×4立=24分
近的4回戦 6分×4立=24分
競射 近的 片付け
監督・コーチの決定と諸連絡